

先進事例 紹介

大沢野女性分団による火災予防への取組

富山市消防団

はじめに

富山市は、本州の日本海沿岸のほぼ中央に位置し、水深1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から、標高3,000m級の雄大な北アルプス立山連峰まで、標高差4,000mのまさに深海から天空に至るまでの多様な地勢を有する水と緑に恵まれた日本海側有数の中核都市で、平成17年に富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村が合併し、人口約42万人の新しい富山市となりました。

富山市消防団は、現在、1本部、10方面団、80分団、2,448名で組織されており、女性分団は、富山女性分団、大沢野女性分団の2分団が活動しています。

大沢野女性分団の活動紹介

平成4年に大沢野町消防団に団本部付けで女性消防団員が採用され、平成17年の合併を経て、平成22年に女性だけの分団として、大沢野女性分団が誕生しました。

「自分たちの地域は、自分たちで守る」という消防精神のもと、予防を重点に置いた活動を行ってきました。現在は、20歳代から60歳代と幅広い年代の団員が、様々な年齢層や地域の実情に応じて、試行錯誤しながら「子どもから高齢者までの防火防災」をテーマに活動しています。

主な活動内容として、「一人暮らし高齢者の家庭防火訪問」、「ペットボトルキャップの回収（2kgでポリオワ

クチン1人分）」、「自主防災会等に向けた防火防災に関する寸劇」、「子どもを対象にした出張防火教室」等があります。

「一人暮らし高齢者の家庭防火訪問」では、高齢者家庭の防火診断や、毛糸で編んだタワシや刺し子糸で縫った火災予防のコメント入り布巾を配布しています。これは、日常的に使用する台所用品を用いて、視覚から防火を意識してもらうために行っているもので、訪問した住民からは「これ（タワシや布巾）を見ると女性消防団員の顔を思い出し、火の用心に気配りしている。」との言葉をいただいています。地道な活動ではありますが、継続することが地域の防火防災につながると信じ、今後も行っていききたいと思います。

「ペットボトルキャップ回収の活動」では、女性消防団のブログや広報誌での呼びかけが功を奏し、地元住民や各種団体の協力で、毎回たくさん回収できております。「捨てればゴミ、集めれば人命救助」を合言葉に、これからも継続していききたいと思います。

「自主防災会等に向けた防火防災に関する寸劇」は、平成4



一人暮らし高齢者家庭防火訪問



住宅用火災警報器の寸劇



子供たちへの防火教室（影絵）





大沢野女性分団広報誌『火まわり通信』



子供たちへの防火教室（紙芝居）



AEDの寸劇

年の発足当初から行っており、私たちの活動の中心にあります。生活の中で起こりうる火災をはじめとした災害をテーマに身近な題材を取り上げて、春・秋の消防総合訓練時にはもちろんのこと、各種のイベントに出向き、演じています。自分たちでシナリオを考え、大道具、小道具も全て手作りし、観て聞いて楽しめるものを目指してきました。ここ数年は、内容をマイナーチェンジしながら行ってきましたが、今年度よりシナリオを一新し、これまでのただ単に「おもしろかった」で終わらせるのではなく、防災の本質をわかりやすく周知できる寸劇になったと自負しております。

「子どもを対象にした出張防火教室」は、寸劇と同じくらい重要な位置づけにある活動です。幼稚園や保育所へ訪問し、手作りの紙芝居や影絵、手遊びを交えた歌、ゲーム等、子供たちの五感に訴えるような工夫を凝らし飽きさせないようにしています。この防火教室では、子どもたちの防火に対する気持ちが芽生えるきっかけになればと子供たちの笑顔をエネルギーに活動しています。

以前は、全国女性消防操法大会に出場したこともありますが、女性ならではの視点で地域の役に立つことができる予防広報を重点に活動してきました。これからも「自

分ができること、私たちができること」を追求し、全国女性消防操法大会に出場したときのようなチームワークで一步一步進んでいきたいと思えます。



大沢野女性分団

昨年、分団発足20年を迎えました。今までの20年は、がむしゃらに活動してきました。その結果として「第18回防災まちづくり大賞消防庁長官賞」を受賞することが出来ました。これからは、この受賞を励みにさらに活動内容を進化させ、地域のための女性消防団となれるよう成長していきたいと思えます。

笑顔あふれる地域、女性消防団を目指して！！



第18回防災まちづくり大賞表彰式

まとめ

本市では、青年層・婦人層から消防団員を掘り起こすことが急務であり、地域の自治振興会や町内会、また、企業などに働き掛け、消防団への入団協力を各団員が日頃から積極的に推進する必要があります。

そのために、これまで以上に消防団員が活動しやすい環境作りや施設・装備等の整備及び、女性消防団員の加入促進などの活性化事業を推進し、「魅力ある消防団」作りに努めてまいります。